

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第74号

発行/ 那賀地域中高一貫教育
研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
http://naka-hs.tokushima-ec.jp/

第70回卒業証書授与式

3月1日(火)第70回卒業証書授与式が、ご来賓・保護者ご臨席のもと厳かに挙行されました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模が縮小された形での式となりましたが、卒業生59名は桜の花のコーサージュを胸に、晴れやかな表情で式に臨みました。

「卒業証書授与」では、担任が一人一人を呼名し、卒業生は三年間の思いを込めて返事をしました。その後、普通科40名の総代として森本結仁さんが、森林科クリエイト科19名の総代として小林龍正さんが登壇し、それぞれ卒業証書を受け取りました。

この日授与された卒業証書は、卒業生一人一人が自らの手で漉いた拝宮和紙の卒業証書でした。昨年12月の寒い中、3年生全員が冷たい水と格闘しながら完成させた、文字どおり世界に一枚だけの思い詰まった卒業証書となりました。

続く「式辞」では、山本校長が、「生涯にわたって理性を使う勇気を持ち、学び続ける人間像の確立に力を尽くしてもらいたい」と卒業生たちに語りかけました。

坂口博文那賀高校振興協議会会長の「祝辞」のあと、在校生代表としてただ一人参加した生徒会長の平流宇さんが「送辞」を述べました。平さんは、那賀高祭や生徒会活動など、卒業生とともに過ごした時間を振り返り、卒業生への感謝の思いと那

賀高校の伝統を受け継いでいくという決意を語ってくれました。続いて卒業生を代表して森林クリエイト科の田中匡さんが、「答辞」を述べました。田中さんは三年間を振り返り、多くの方々に支えていただき、恵まれた環境で過ごせたことへの深い感謝の思いと、精一杯努力し続けることの大切さに触れ、「学ぶことを忘れず、那賀高校での経験を胸に新しい世界でも挑み続け、努力を重ねていきます。」と力強い決意の言葉を述べました。一言一言噛みしめるよ

うに語られた言葉に、式場全体が大きな感動に包まれました。その余韻が残る中、卒業生たちは正・副担任に向かって万感の思いを込めて深々と一礼し、鳴り止まぬ拍手の中、式場を後にしていきました。

その後、各教室で最後のホームルーム活動が行われました。新型コロナウイルス感染症感染防止対策として密を避けるために、保護者の皆様にはオンライン形式で参加していただきました。教室で担任から一人一人に卒業証書が手渡され、先生方からの最後のメッセージを真剣に聞く生徒たちの様子がパソコンを通して電子黒板に映し出され、保護者の方々はいまのように見つめていらつしやいました。第70回卒業証書授与式は、制限のある式になりましたが、ご来賓や保護者の方にご臨席いただき、卒業生一人一人の旅立ちを祝福する気持ちに溢れた、厳かで感動的な式となりました。ご臨席いただいた皆様改めて感謝申し上げます。

この那賀高校で多くの人々に出会い、様々なことを学び、心身ともに成長した卒業生。この日を迎

えられたのは、本人の努力はもちろんのこと、家族や友人をはじめ、多数の方々の支えや協力のおかげです。心より感謝申し上げます。卒業生の皆さんには、感謝の気持ちを忘れず、力強く未来を切り拓いていってほしいと願っています。皆さんの将来に幸多からんことを、心よりお祈りしています。



卒業生の主な進路決定先&メッセー

進学

鳥取大学
私は、高校生活の中で挑戦する大切さを知ることができました。周囲の人達の支えもあり、何回も立ち直って最後までやり通すことができました。何かに挑戦することで、結果以外の重要なことに気づけるはずです。

尾道市立大学
私は、進路を決める為に、先生方や多くの方々にお世話になりました。人生の中で誰かに支えられているというのを一番実感した三年間です。皆さんも、努力は絶対に報われるというのを忘れないてください。

東京農業大学
高校では、努力すれば夢は叶うということを知りました。努力を続けることで部活動では3年生の時に全国大会に出場することができました。大学受験も目標に向かって努力をし、無事合格することができました。

徳島医療福祉専門学校
私は、自分の苦手な事から目を背けてきたので、合格した今でも課題があると感じます。勉強はもろいんですが、部活動やボランティアなど、自分を成長させてくれる事に積極的に参加していただきました。

徳島県立鳴門病院附属看護専門学校
私は2年生の後半に、進路を大きく変更しました。それまでは受験を意識せず高校生活を送っていました。一日一日を自分のためになるよう大切に過ごしたため、進路についてよく考え、早めに進路を決定することが大切だと思います。

日南町立林業アカデミー
私は2年生までは進路が決まっておらず、周囲に急がされてばかりでした。しかし、勉強は普段から頑張っていました。3年生になる春休みに進学先を決定し、秋には合格することができました。まだ進路が決まっていなかった人は、早く決断することを大事です。今、何をすべきかを考え、学力向上などの進路実現に向けて準備をするのも大切だと思います。

徳島県立農業大学校
高校での三年間はとても短く、貴重な時間です。一日一日を大切に、何事にもしっかりと、積極的に取り組み、友人の思いもたたくさん作って、夢に向かって頑張ってください。

就職

大塚製薬株式会社
私は高校生活三年間で、いろいろな経験をすることができました。高校は、他では経験することができない貴重な経験をすることができると感じています。一日一日を頑張ってください。

徳島県職員(林業)
この三年間は忙しく、あつという間に終わりました。自分の目標を見つけては追いかけ、見つけては追いかけ、今でも努力することができました。皆さんも大きな壁にぶつかっても、前を向いて乗り越えていってください。

株式会社ケーブルテレビ阿南
三年間無事に過ごすことができたのは先生方のおかげだと思います。部活動でもたくさん経験をすることができ、多くのことを学びました。これから人生に生かしていきける事ばかりなので、毎日笑顔忘れずに、頑張ってくださいと思います。

日本郵政株式会社
高校生活の三年間はあつという間に終わってしまします。しかし、この短い間だからこそ、いろいろなことに挑戦していきってください。そして、一日一日を大切に過ごし、自分の夢へと向かって頑張ってください。

レイデオロ
高校生活は新型コロナウイルス感染症の影響で行事が減ってしまいましたが、楽しい三年間を過ごす事ができました。高校生活は、一生に一度しかない貴重な時間だと思うので、一日一日を大切に過ごしてください。

株式会社日新
いろいろな大変なことも多いと思いますが、自分のやりたいことを探すのが大切だと思います。頑張ってください。

山崎製パン株式会社
高校生活の三年間は、長いようでとても短いものです。私は2年生になって部活動と勉強を頑張る、目標に向かって進み続けました。後輩の皆さんも自分のやりたいことを探し、自分の目標に向かって頑張ってください。

若鮎寮 卒業式

2月28日(月)、若鮎寮で卒業式を控えた男子11名、女子1名の卒業式が行われ、卒業生と関係職員が参加しました。新寮生長から卒業生へはなむけの言葉が、卒業生から調理員さんや舎監の先生へ感謝の言葉が述べられました。そして教職員から卒業生へ記念品が贈られました。今後は、新3年生が中心となり、受け継いできた若鮎寮・竜峰寮の良き伝統をしっかり引き継いでいってほしいと思います。温かい雰囲気の中、心に残る卒業式となりました。



中高一貫教育TV会議

令和4年2月3日(木)、鷺敷中学校・相生中学校・木頭中学校の3中学校とTV会議を開催しました。本校からは生徒会役員および各中学校出身者合わせて8名が参加し、各中学校1年生と交流を行いました。お互いに質問をするうちに緊張もほぐれ、とても充実した交流活動を行うことができました。

各中学校出身者の感想

相生中学校

今回のリモート会議で、本校を進学希望してくれる生徒さんが増えるといいなと思います。森林クリエイト科にもたくさん入学してくれれば嬉しいです。また、那賀高校の楽しさが中学生に伝わってくれば幸いです。部活動や学校生活を自分たちと一緒に過ごしてくれる後輩たちがたくさんいたらいいなと感じます。中学生たちはみんな元気いっぱい、とても楽しそうでした。やはり、中学校生活も楽しそうだと改めて感じました。



木頭中学校

中学生の人たちがこれを機に本校に入学してくれれば、とても嬉しいです。今の中学校のことも知ることができたので、またこのような機会があればいいと思いました。質疑応答ではたくさん質問してくれたので、那賀高校のことを知ってもらえたかなと思います。ぜひ那賀高校に入学してほしいです！

鷺敷中学校

那賀町内の中学校の人たちとTV会議をして、出身中学校のことをとても懐かしく思うと同時に、他の中学校のことも知ることができてよかったです。質疑応答をすることで那賀高校のことも分かってもらえたと思うので、とても良い機会だと思いました。Zoomでの交流でしたが、楽しくとても良い交流だと思いました。那賀高校の魅力を伝えられたので、たくさんの人に入学してほしいです。

校外林業実習

「伐木・森林測量講習」

令和3年11月29日(月)那賀町川口町有林において、森林クリエイト科2年生を対象に「伐木・森林測量講習」を実施しました。伐木講師には山武者代表の榎谷 将志氏、本校森林クリエイト科1期生 高岡 和仁氏の2名を迎え、チェーンソーによる伐木実技講習を実施しました。また、株式会社松本コンサルタントの尾崎 弘氏、多田 弘樹氏のご指導のもと、森林測量実技講習を実施しました。



伐木講習

「高性能大型林業機械操作・原木搬出実習」

令和4年2月7日(月)には、11月の伐木講習で伐採した原木を、高性能大型林業機械を使用して搬出する実習を行いました。講師に木頭森林組合の近藤 大樹氏、金沢 悠香氏をお迎えし、自分たちが伐採した原木の搬出講習を実施しました。校外林業実習では、那賀町林業テクノスクールの多大なご支援とご協力をいただいています。今後も、保育から収穫、加工、販売まで、林業施業についてより実践的な専門学習を展開していきます。



森林測量



搬出実習

1・2 学年 大塚製薬株式会社徳島ワジキ工場 見学・卒業生の講話(リモート)

- ・リモートによる工場見学や卒業生のお話をお聞きして、自分が住んでいる町にある企業について、より深く知ることができました。卒業生が教えてくれた①積極的に行動する②目標を明確に持つ③多くの取組を経験する④パソコンに慣れておく⑤コミュニケーション(報告・連絡・相談)を図る⑥ルールを守ることなど、今から実践していきたいと思いました。(1年男子)
- ・大塚製薬株式会社徳島ワジキ工場で働いている方々のお話を聞くことができ、本当に良かったです。カロリーメイトが製造されていることは知っていましたが、エグエルや薬品も製造されていることを初めて知りました。企業の仕組みや働いているからこそ感じる事など、これからの自分に役立つことばかりでした。(1年女子)
- ・大塚製薬株式会社について多くのことを知ることができました。カロリーメイトの製造工程を見学させていただき、技術力やコミュニケーションがとても大切なのだと感じました。また卒業生のお話から、社会人になると常に責任が伴うため、今のうちに多くのことを経験して、社会人になって困らないようにしたいと思いました。(2年男子)
- ・大塚製薬株式会社に就職された先輩方の話を聞いて、尊敬するとともに私ももっと頑張ろうと思いました。自分の進路目標が叶うように、先輩方が教えてくださった6つのアドバイスや5S、また報告・連絡・相談のハウレンソウを大切にしていこうと思いました。(2年女子)



エシカルクラブ 校内「服活」の取組

1/13(木)~24(月)の期間、校内「服活」を行いました。高校生が着用しような服をクラブ員がチョイスし、西渡り廊下に展示し、43着譲渡することができました。「これかわいい♪」「部活動で着られそう」といながら、楽しそうに吟味している生徒の姿を見ることができました。この活動を通して、環境に配慮する行動ができる人になってほしいと思います。



「まなぼうさい賞」を受賞

本校において防災クラブを立ち上げて10年目を迎えました。振り返ってみれば、防災リュックや防災マスクづくり、「なかなか美味しい防災食レシピ集」の発行、レシピ動画の作成、地域の方々と防災食づくり講習会、地域で行われた防災プログラムへの参加など様々な形で防災を学び、地域へ発信してきました。コロナ禍の影響で、活動が制限される状況ではありますが、今後も活動を深め、より多くの方々に防災について啓発していきたいと考えています。これまでの活動が評価され、今年度も受賞することができました。1月26日(水)、県庁3階で行われた表彰式には、防災クラブ代表生徒が出席し、飯泉知事より表彰状をいただきました。改めて、防災教育の重要性を感じるとともに、今後の活動の励みとなりました。



3 学年 拝宮和紙 卒業証書作成

本校は、平成28年度の森林クリエイト科開設当初より、旧上那賀町拝宮地区に伝承されている「拝宮和紙」について学習しています。地域の伝統技術を学んだ成果として、平成30年度より、卒業証書製作の取組をスタートさせました。本年度も、12月に普通科・森林クリエイト科3年生全員が紙漉き実習を行い、世界で1枚だけのオリジナル卒業証書を作成しました。丹生谷の自然の恵みと、思い出のつまった卒業証書を手し、新たな進路で精一杯活躍してくれることを願っています。



令和3年度 予餞会「2年連続のリモート予餞会」

本年度こそは、全体で行える！と意気込んだ予餞会でしたが、新型コロナウイルス感染対策としてリモートで行うこととなりました。全体での実施を想定して計画していたため、予定を変更せざるを得ませんでした。そのような中、生徒会が、「3年生のメモリアルムービーのためにオープニング動画を自分たちが出演して作ろう！部活動の後輩からメッセージ動画を集めよう!!」と立ち上がりました。リモートでも実施できるのであれば幸いです。その思いだけはかなって、無事予餞会当日を迎えることができ、メモリアルムービーを上映することができました。3年生の中には、涙を流しすぎて疲れ果ててしまう者もいるほどの予餞会は、前生徒会長の「在校生の皆さんは、先生方に無茶だと止められるぐらい、何事にもチャレンジしてください。」というあいさつでその幕を閉じました。卒業生にとっても在校生にとっても、これからのモチベーションを高めるためには最高の予餞会となりました。



補助犬シェルター作り

令和4年1月28日(金)に「スーパーオンリーワンハイスクール」の一環として、本校が避難場所となった際に使用する、補助犬シェルターを森林クリエイト科2年木材加工専攻の生徒で作成しました。清水家具店の清水智司氏のご指導のもと、シェルター作りに取り組みしました。正確な墨の入れ方や効率的な作業の方法など、学校では学ぶことのできない、職人ならではの知識や技術を教えていただき、貴重な経験となりました。本校が避難場所となった際に利用し、快適な空間を提供できるようにしたいと思います。

